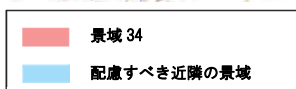


景域 34 JR 吹田駅北口・片山商店街界隈



● すすいた市民環境会議の活動・・・市全域

昔ながらの専門店と新たなアーケードでつながる商店街と、吹田のランドマークのある駅前の景観

地形

平坦な地形が広がっています。

歴史

片山商店街は、大阪高槻京都線の沿道に形成され、高度経済成長期に発展していきました。

JR 吹田駅北口では再開発が行われ、平成 8 年（1996 年）に事業が完了しました。メロート吹田は遠方からのランドマークとなっています。駅前広場はゆったりとしており、アサヒビール工場や片山商店街などへの玄関口となっています。市街地再開発事業に合わせて歩道・車道のデザインを工夫し、境界部をゆるやかに区切り電線を地中化するなど、ゆったりとした、歩いて楽しい道が整備され、「ブーメランストリート」と愛称が付けられました。

土地利用

片山商店街は、アーケードによって連続性のあるにぎわいの景観が形成されています。空き店舗もみられるようになっており、にぎわいや景観の面でも課題となっています。



メロート吹田



片山商店街

都市活動・暮らし

片山商店街では、地域の人々に長く親しまれる商店街やスーパー、新たに開店した店舗などを利用する人々の姿がみられ、地域の小学校の児童が描いた児童絵画展が開かれるなど、地域コミュニティと密着した空間となっており、また、近隣の大学へ通う学生の姿もみられます。

風格のある駅前の景観をつくり、回遊性とにぎわいのある商業景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

○緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりを感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、回遊性とにぎわいのある商業景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などをはかり、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 22, 23, 29, 38, 39, 45